

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	134	環境学習情報センターを核とした普及・啓発					
章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち					
大項目	01	環境への負荷の少ない社会システムの構築					
施策	03	環境保全思想の普及と啓発					
事業内容							
目的	環境学習情報センターを活用して適切な情報提供、環境に関連するイベントなどを行い、環境問題への関心・理解を深め、環境に配慮した生活や行動ができるように普及・啓発を図ります。						
対象・手段	環境学習情報センターを核として、区民・企業・NPO・学校との連携と協働を進め、環境に関する意識を向上させ、具体的に環境改善を実践できるよう、啓発パンフレット等の作成と配布、出前環境学習の実施、ホームページへの掲載、区民・企業・NPO・学校への環境保全活動の支援を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
各種イベントの開催、事業者との連絡会を通じて、普及・啓発、支援を効果的に進め、区民、事業者、NPOが環境保全活動を実践しやすい条件を整えていきます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
エコリーダー養成講座の参加者数	地域の環境活動のリーダーを養成することを目的とした連続講座の参加者数です。	(平成19)	年度に (300人)の水準達成				
「まちの先生見本市」の参加者数	学校の環境学習・環境活動を推進するため、区民・地域団体・NPO・事業者・学校・行政が連携して実施する「新宿の環境学習応援団」まちの先生見本市(1日1回のイベント)の参加者数です。	(平成19)	年度に (500人)の水準達成				
		()	年度に ()の水準達成				
成果の達成状況							
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
事業成果指標	目標値1	人	300.00	300.00	300.00	300.00	広報活動の成果もありますが、立地条件が大きく影響します。
	実績1	人	265.00	340.00	150.00	474.00	
	= /	%	88.33	113.33	50.00	158.00	
	目標値2	人	500.00	500.00	500.00	500.00	
	実績2	人	650.00	2,000.00	700.00	1,479.00	
	= /	%	130.00	400.00	140.00	295.80	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	区立小・中学校における環境学習、地域の環境活動のリーダーを育成する「エコリーダー養成講座」、学校の先生や環境学習に興味のある人たちを対象にした「まちの先生見本市」、環境省の事業「こどもエコクラブ」事務局、夏休み親子体験教室「神田川たんけん隊」、環境保全活動を地域に広げていくことを目的としたエコライフ推進員の活動、エコ事業者連絡会の開催等を実施しました。						
平成19年度	区立小・中学校における環境学習、地域の環境活動のリーダーを育成する「エコリーダー養成講座」、学校の先生や環境学習に興味のある人たちを対象にした「まちの先生見本市」、環境省の事業「こどもエコクラブ」事務局、夏休み親子体験教室「神田川たんけん隊」、環境保全活動を地域に広げていくことを目的としたエコライフ推進員の活動、地球温暖化対策の推進事業、エコ事業者連絡会の開催等を実施しました。						

部名称		環境清掃部		課名称		環境対策課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	3,125	3,157	2,781	4,102	
	人件費	千円	0	0	14,076	14,042	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	3,125	3,157	16,857	18,144	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	3,125	3,157	16,857	18,144	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	3,125	3,157	16,857	18,144	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	1.70	1.70	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>環境学習情報センターの機能を最大限に活用して着実に環境学習を推進しています。特にホームページリニューアル後の利用人数が大幅に増加しました。更なる広報活動に力を入れて、利用者の開催事業への参加数の継続的な増加が求められます。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3・2・1」の3段階評価です。	達成度	2	環境学習情報センターを活用した環境学習事業実施、環境関連イベントへの参加、毎月発行の「環境ニュース、」やホームページを通じた情報提供など、利用可能なツールを活用して環境保全思想の普及啓発活動を実施しています。				
	実施の成果	2	イベント参加者へのアンケート調査等における満足度は高く、普及啓発事業が環境への理解や関心を深めるのに一定の成果を上げています。				
	効率性	2	環境学習情報センターを核とした、環境普及啓発事業展開は、地道な活動の積み重ねで普及啓発を行っています。区民の反応も多くなり、区民行動にも変化が出てきています。出前講座やホームページによる普及啓発の活用により、効率化が進んでいます。				
	行政の関与	3	環境基本条例に基づき、区の主導により、区民・事業者等との協働で環境保全に関する知識の普及及び意識啓発を図っていきます。				
	妥当性	3	環境学習情報センターを活用した普及啓発の成果として、地域の環境活動のリーダーを養成するエコリーダー養成講座の参加状況を捉えていくことは適切です。				
	施策寄与度	3	平成16年6月5日開設の環境学習情報センターの機能を最大限に活用した様々な環境学習事業により、区民・事業者等の環境保全の意識向上、行動の実践に大いに寄与しています。				
総合評価	<p>19年度の評価はBです。各種イベントの開催や講座の実施等、区民・地域団体・NPO・企業・学校等の地道な連携と協働により、普及啓発事業の環境への理解や関心を深めるのに大きな成果を上げています。</p> <p>17年度から19年度の3年間についてもBと評価します。施設利用・イベント参加人数は、19年度11月から3月まで耐震補強工事で閉館していたこともあり、10万人には届きませんでした。今後も利用・参加人数の増加に向けた事業内容の創意工夫を進めていきます。</p>						B
							過年度評価
						18年度 B	
						17年度 B	
						16年度 B	
						15年度	
改革方針							方向性
	<p>環境学習情報センターを核とした、区民・地域団体・NPO・企業・学校等の連携、協働をより一層推進します。また、エコライフ推進員やリーダー養成講座修了生を活用し、環境保全思想の定着を担う仕組みづくりをしていきます。ホームページを更に充実させるなど、手段の改善を図り、今後もより効果的な普及啓発活動の展開を図るとともに、参加者の増加が図れるような魅力ある事業内容を工夫していきます。</p> <p>そのために、この事業は第一次実行計画「54環境学習・環境教育の推進」に引き継いで取り組んでいきます。</p>						2
						手段改善	